

ハワイ島キラウエア火山に関する情報

キラウエア火山について

- キラウエア火山は、シールド火山（たて型状火山）であり、過去35年間に渡り噴火し続けている。
- 火山の表面の90%は、1000年前から形成された溶岩で覆われている。
- そのうち20%は、200年前から形成された溶岩である。
- ハワイ火山国立公園内にあるハレマウマウ火口は、2008年からマグマが上昇してきており、過去10年そのマグマの反射で火口が照らされる光景を観察できる名所として人気だった。
- ハワイ島は、ハワイ諸島で最も新しく大きい島で、面積は、約10,432km²。現在も成長し続けている。

ハワイ島へ旅行しても大丈夫か？

- 全ての空港、フライトは通常通り運航している。
- 宿泊施設および各種ツアーは、被害地域（山頂、東リフトゾーン、プナ南部）を除き通常通り営業している。
- ハワイ火山国立公園は現在閉園していますが、園内のカフクユニットは開園している。
- 国立公園のレンジャーは、ヒロのダウントウンにあるモクパパバ・ディスカバリー・センターに駐在している。
- ハワイ諸島の他島への影響は全くない。

溶岩はどこに流れているか？

- 溶岩が流出しているエリアは、約25km²以下で、ハワイ島全体の約0.2%のみである。
- 2018年5月初旬に東側のリフトゾーンで新しい亀裂が発生し、溶岩が流出し始めた。
- 東リフトゾーンの亀裂から流出している溶岩は、限られた地域で発生しており、他エリアや隣島への影響はない。
- キラウエア山頂にあるハレマウマウ火口の溶岩湖レベルは下がったものの、火山灰は断続的に発生している。

ヴォグやレイズについて

- キラウエア火山は、噴火活動が35年以上も続いているため、過去にも溶岩が海面に流れることは何度も発生している。ヴォグ（火山霧）に関しても今までと違いはないが、活発な火山活動や風向きによって通常よりも多く発生する可能性がある。

ヴォグ：火山霧。火山霧の濃度は、火山活動のレベル及び風向き、風力に左右される。

レイズ：溶岩が海に到達した際に、海水が沸き立つ溶岩によって沸騰し発生する溶岩煙霧。これにより、海面到達地点で局所的に海水が凝縮されてできた蒸気や塩酸ガスおよびガラス微粒子により構成される白い煙霧が起る。レイズは、発生直下の場所では危険な煙霧であるが、すぐに蒸発するもので島の他場所に流れたり、海に流されるものではない。

SO₂：火山活動が活発なエリアでは、二酸化硫黄（亜硫酸ガス）が発生する。現場近くで働くもの（例：科学者）は、ガスマスクをつけて作業をしなければいけない。

火山灰：水蒸気誘発型の噴火により発生する。

- 呼吸器疾患や心血管疾患を持っている方は、影響を受けやすいため健康への影響を確認すること。
- ヴォグに関する最新情報は以下の通り。

<http://www.ivhhn.org/vog>

[EPA Air Monitoring Viewer](#) 大気モニタリング情報

[Current conditions](#) 現状況

[Vog forecasts](#) ヴォグ情報

[Ashfall forecast](#) 火山灰情報

どのようにしたら溶岩が見れるか？

陸からのアクセス：安全のため、火山噴火エリアへの道路は閉鎖中。違反通行者は、罰金や逮捕される恐れがある。プナ南部地域の被災者方への配慮をお願いしている。

空からのアクセス：直接ヘリコプターツアー会社にツアー催行状況と最新情報を確認することを勧めている。現在、連邦航空局より飛行制限が設けられている。またドローン飛行は禁止されている。

海からのアクセス：下記が沿岸警備隊より許可を受けたボートツアーのみ営業可能。以下会社一覧参照。現在の催行状況は直接ツアー会社に確認要。

Lava Ocean Tours	ラバ・オーシャン・ツアー	www.seelava.com	808-966-4200
Moku Nui Lava Tour	モク・ヌイ・ラバ・ツアー	www.mnlavatour.com	808-938-1493
Kalapana Cultural Tours	カラパナ・カルチュラル・ツアー	www.kalapanaculturaltours.com	808-345-4964
Hawaiian Lava Boat Tours	ハワイアン・ラバ・ボート・ツアー	www.hawaiianlavaboattours.com	808-640-0806